

1. 研究動機

- 1 看護師志望なので、看護に関する研究をしたいと思った。
- 2 以前から介護用品に興味があった。
- 3 自分で介護用品を作ってみたいと思った。

2. 研究概要

初めに介護用品について知識を深めるため、文献やインターネットで調べることにした。介護用品には、こういったものがあるのか、こういった目的で使用されているのかを調べ、そのあとに実際に介護用品である『**介護エプロン**』を自分で製作した。誰でも簡単に作れることを考え、一から作るのではなく市販のものに手を加えて作った。

3. 研究内容

製作する前に

介護される側が楽しく食事をできるようにし、また誰でも簡単に作れるようにしたいと思った。その中でも、特に誰でも簡単に作れるという点について考えていった。



工夫点①：吸盤をつけた



工夫点②：食べ物キャッチポケット

製作していく中で

〈工夫点〉

①吸盤を付けたこと

動いたときにエプロンがずれそれにより食べ物や食器が落下する恐れがあるのではないかと考えたので取り外し可能な吸盤を付け、食べ物や食器の落下を防げるようにした。

②食べ物キャッチポケットを作ったこと

食べ物をこぼしてしまったときに床に落ちてしまうと、片づけの効率が悪くなってしまわないかと思ったため、ポケットを作り床に食べ物が落ちるのを防ぎ効率よく片付けができるようにした。

4. まとめ

自分で実際に作ってみることで介護用品のことが知ることができ、利用する方々の気持ちだけでなく介護する方々の気持ちも考えることができた。

また、今回の研究を通して、将来自分が目指す看護という仕事に近い研究ができたと思った。

